

去る3月10日に相原みちまち推進会議第5回全体会を開催いたしました。2011年度最後の会として、これまで以上に多くの方々にご参加いただき、皆様の共通認識を確認し合う会になりました。

今回のまちづくりニュースでは、当日ご議論いただいた資料を中心に、会議の様様についてご報告いたします。

## 相原みちまち推進会議 第5回全体会

進行役 法政大学デザイン工学部 高見公雄 教授



相原みちまち推進会議は、2011年度に全体会5回、権利者の会10回を開催してきており、以下の点が明らかになったと考えられます。これらを、会議に参加している方々の共通認識としていきたいと考えています。

### 相原みちまち推進会議 2011年度のまとめ

#### 1. 道路整備に関すること

- **相模原側に鉄道のアンダーパスができた場合、大戸踏切立体化の必要性は薄れるのでないか。**  
交通量の面でそういう傾向はありうるかと思いますが、大戸踏切立体化は地元の長年の悲願であり一日も早い実現を望んでいる方もいます。  
町田街道は町田市の骨格となる重要な道路であり、スムーズな流れを確保していく必要がありますが、地域分断といった懸念もあるため、整備のあり方を考えていくことが望ましいと考えます。
- **アンダーパスは地元を分断する。鉄道を高架化して東西自由に通れるようにすべきである。**  
当時鉄道勾配の制約で駅を高架化することは困難と言われたようですが、物理的には高架化は可能です。ただ、すでに橋上駅と自由通路が作られており、これを壊して線路を高架化することは非現実的です。現在の橋上駅の改築が必要となる遠い将来まで待たねばなりません。
- **アンダーパス整備のために東京都が動きだすと聞いているがどうか。**  
従来より示されている計画に従い、来年度から事業化に向けた具体的な動きを起こすと聞いています。市はこれに協力することになります。
- **西口駅前広場にアクセスする道路(町3・4・47)はいつになったらできるのか。**  
用地交渉がほぼ整いつつあり、西口駅前広場を含め2014年度末に工事が完了する予定です。
- **みなみ野へ抜ける道路は必要なのか。またいつできるのか。**  
東京都では早期に整備すべき路線と位置づけています。八王子～町田～相模原を結ぶ交通ネットワーク上、必要とされています。具体的な整備時期は明らかにされていません。
- **その他の細街路を作る予定はあるのか。**  
地元の方と相談しながら、東西ともに必要最低限の細街路は市等で整備していくこととなりますが、何よりも地元の合意と協力が必要となります。

#### 2. 駅前広場整備に関すること

- **西口駅前広場の整備計画、事業実施の説明が唐突な気がした。**  
みちまち推進会議より市の担当部署にお願いをして、計画案を変更していただきました。歩行者空間を拡大してまちづくりに活かそうと考えています。今後地元の皆さんとその使い方、作り方を具体的に議論していきます。
- **西口駅前広場に自家用車乗降場と自家用車駐車場が必要である。**  
自家用車乗降場は明記してありませんが、駅前広場は法的には道路であり、進入禁止ではないためバス交通と交錯しない範囲で自家用車の乗降は認められています。自家用車乗降場に自動車を置いてドライバーが車から離れ、長時間駐車されてしまうことが懸念されるため、駐車スペースは設けられないとされています。自家用車乗降場・駐車場は地域より要望が示されており、今後調整が必要です。
- **陽田の方から来る道路の上を越える歩行者動線が必要。**  
西口駅前広場整備により横断歩道の位置なども明確にされ、また同道路の交通量は多くはないと考えられるため、立体交差施設を公共で整備するのは難しいと考えられます。今後、交通量の具体的なチェックとその解析を進める予定です。

## ■ 駅前広場北西からのスロープが階段となってしまうと使い難い。

駅前広場拡張にともない、高さの差ができてしまい、どうしようもない面があります。「斜路付き階段」という自転車を押して通れる構造になります。ベビーカー、車椅子などは一本北側の道路を利用することになります。

## ■ 東口の駅前はどうなるのか。

現段階で特に何かが行われるという予定はありませんが、より魅力的なまちを作っていくために、アンダーパス整備などを契機として、駅前広場機能やその周辺を一体的に考え、再整備していくための話し合いを進めるべきです。

### 3. まちづくりに関すること

## ■ 改めて相原の魅力が自然環境にあることを感ずる。陽田川の自然など残すべきである。

多くの方がこのように考えておられ、自然環境の保全と駅前としての利便性の向上や賑わいづくりを両立させることを考えていくべきです。川にふたをして道路をつくることは、今後はあってはならないし、川の幅もあまり広くないので、道路整備として有効な選択とは言えないと思います。

## ■ アンダーパス整備により移転させられる店舗などの代替りの場所はあるのか。

道路整備の事業者（東京都等）は金銭で買収するだけです。みちまち推進会議の場を含めまちづくりを話し合うなかで、店舗の移転先などを確保するための話し合いを進めなくてはなりません。土地の動きなどについては、市を含め関係者で情報把握に努めていくことが望ましいと考えます。

## ■ 西口の新しい道路整備にともない、用途地域は変更されるのか。

道路の新設は用途地域見直しの一つの条件ではありますが、必ず見直すというものでもありません。地域の方々のまちづくりの考え方、また細街路整備などへの考え方などを受けて検討されるものです。

## ■ アンダーパスができると東口への出入りに支障があると聞か。

現在の計画では、アンダーパス整備に伴い相原駅入口交差点の右左折に制限が生じます。このため、堺市民センター等へのアクセス改善と東口駅前から町田街道に至る道路を整備する必要があります。地域のまちづくりと一体的にもっとも望ましいルートを考えていきたいと思ひます。

## ■ 地域の人の将来の生活像など、駅前地区でなにをしていったらいいのか。

比較的低利用の土地を中心に、今後地区に求められていく都市機能を考え、使い手を想定しながら、また地域としての市街地の形、景観などに配慮しながら、魅力と賑わいを生む街区の開発を話し合っていきたいと思ひます。

### □意見交換（主なご意見）

Q 町田街道の都市計画決定は今から変更することが可能なのか。

A 町田街道の現在の計画幅員は18mですが、これでは立体的な整備が難しいため30m程度に変更する必要があるとされています。（高見）

Q 町田街道の踏切東側交差点（相原駅入口交差点）は、歩行者も南北に横断することはできなくなるのか。

A アンダーパス整備後は、この箇所では、歩行者も自動車もそのまま南北に横断することはできなくなります。いずれも一度ぐるりと側道を回ることになります。（高見）

Q アンダーパス整備後は、鉄道を横断するためには、歩行者もトンネルを通らなければならないのか。

A 今のままだとそうなります。鉄道を跨ぐエレベータ付の歩道橋設置など皆さんから要望していくことが考えられます。（高見）

Q この場での意見は東京都に伝えてもらえるのか。

A 市から東京都に伝えていきます。東京都は来年度から説明会を行う予定です。（町田市）

Q 市民センターの移転は具体的な話が動いているのか。

A 特に決まった話はありません。今後どうすればよいか、こうして皆さんのお話を伺っているところです。（町田市）

Q1 西口駅前広場には駐車場はいらないが、停車するスペースをきちんと明示したほうがよいのではないか。

Q2 駐車場がないと車で買い物もしくい。駐車場は重要ではないか。

Q3 あえて駅前広場の中に駐車場を整備する必要はない。むしろ、せつかく歩行者空間を広くとってもらったので、地域の朝市やイベントなど色々な使い道を考えて、憩える場所にしておくことが大事ではないか。

A 乗降できる場所は今よりも広がるので、駅前広場の自家用車の使い勝手は現状よりずっと良くなると考えています。（高見）

Q 西口駅前の大樹は残せないのか。また崖や丘も地形的な特徴であり貴重だと思ひ残せないか。

A 大樹は新たな駅前広場の範囲とかなり重なっているため、広場を狭めて残すことは不可能です。植え替えることはできるかもしれませんが、専門家にみてもらう必要もあります。地形については、高低差も大きく広場沿いの敷地が使いにくくなるため制約は多いと思ひられますが、検討の余地はあると思ひられます。（高見）

## ■今後の予定

### 相原みちまち推進会議を、5月15日に開催します！

今年度の最初の会議となります。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

相原みちまち推進会議 第6回全体会

◆開催日時・会場

日時 5月15日（火曜日）午後7時～

会場 堺市民センター 大ホール